

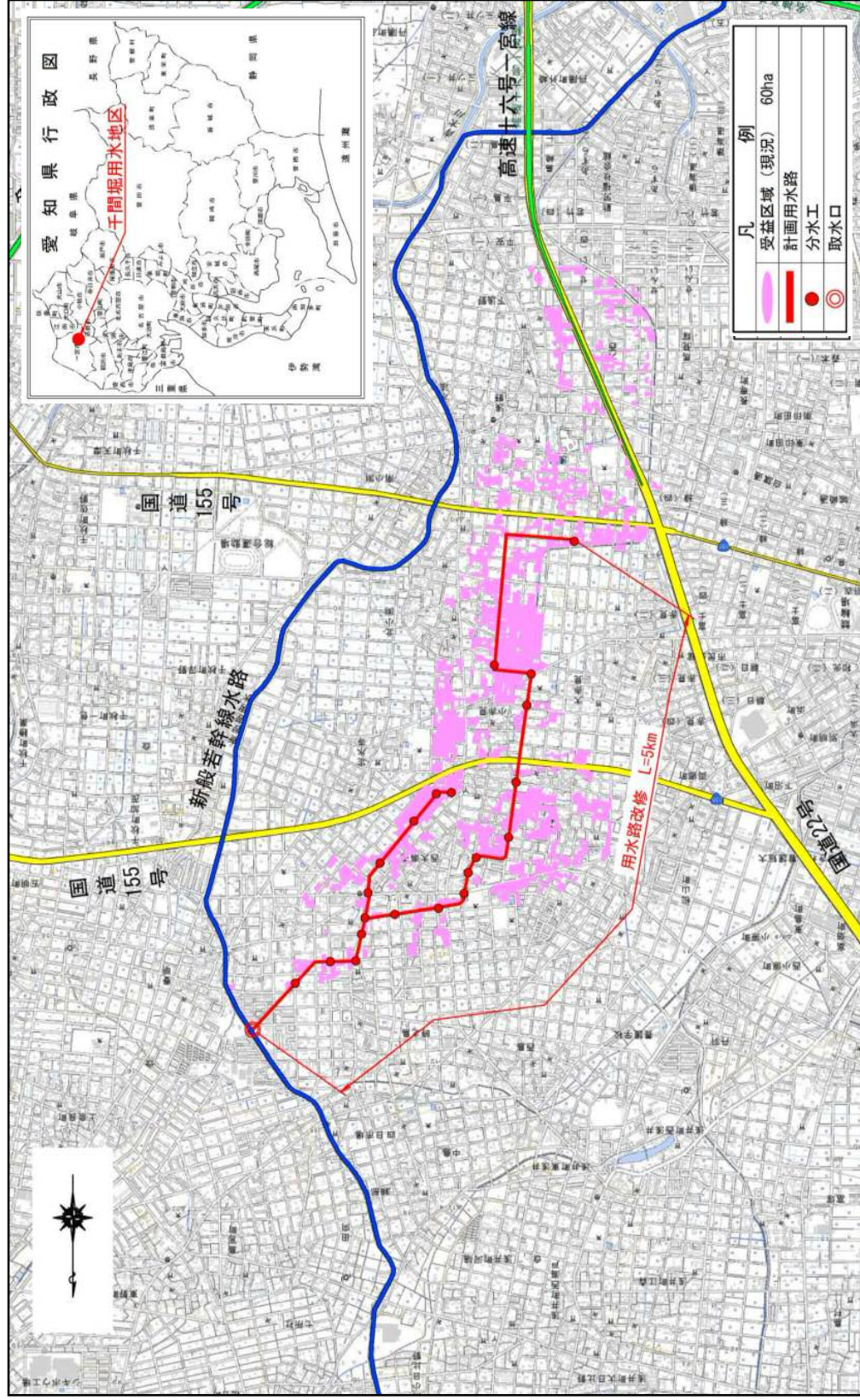
地区別事業概要

事業名	農村地域防災減災事業		地区名	せんげんぼりようすい 千間堀用水
関係市町村	愛知県 いちのみやし 一宮市		事業主体	愛知県
事業目的	本地区は、愛知県一宮市の中心市街地より東へ約3kmに位置し、木曽川流域の低平地に広がる農業地帯であり、水稻を中心とし、輪換畑としてさといも等を組み合わせた営農が展開されている。 千間堀用水路は、昭和49～54年度に県営水質障害対策事業により用排兼用水路から用水機能を分離して築造した管水路である。施設の一部は敷設から40年以上が経過しており、老朽化に伴う漏水や破損により、安定した用水供給に支障をきたしている。 このため、本事業により本施設の更新整備を行うことで従前の用水機能を維持し、農業生産の維持並びに農業経営の安定化を図るものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工 期
	60ha	648戸	1,106百万円	平成29～34年度
	主要工事	・用水路 5 km		
	関連事業			
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	1,596百万円	1,343百万円	1.18	総費用総便益比方式
概要図	別添のとおり			

出典：千間堀用水地区土地改良事業計画概要書（愛知県農地計画課作成）

概既駁圖

農村地域防災減災事業
干間掘用水地区



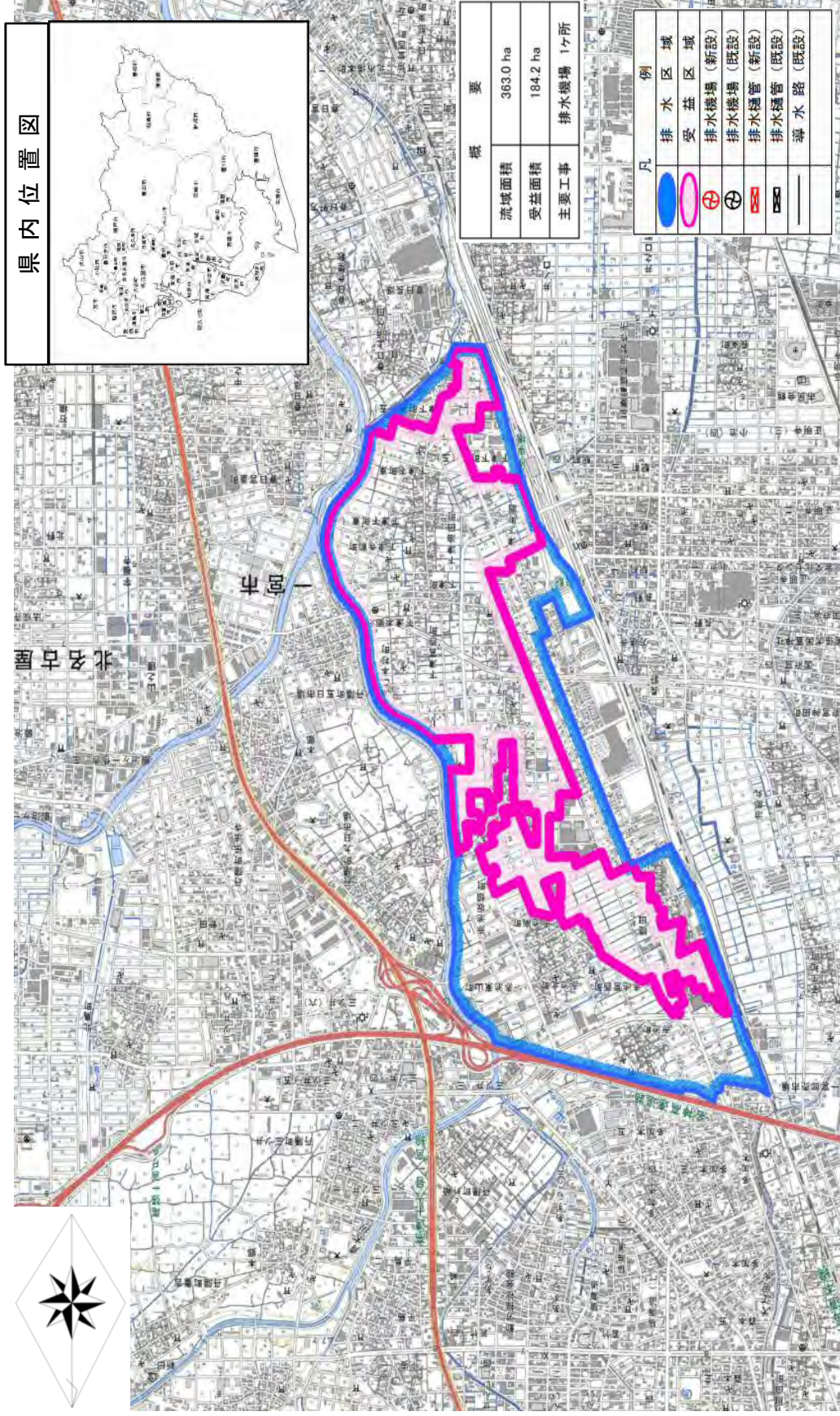
地区別事業概要

事業名	農村地域防災減災事業		地区名	しんおりづ 新下津
関係市町村	愛知県 いちのみやし いなざわし 一宮市、稲沢市		事業主体	愛知県
事業目的	本地区は愛知県の北西部に位置し、地区西側はJR東海道本線稲沢駅、東側は一級河川五条川及び一級河川青木川、北側は名神高速道路一宮I.Cに接する平地であり、農地では水稻を中心に、大都市近郊の条件を活かしたキャベツ、ホウレンソウ等の野菜が栽培されている。 地区内の排水は、昭和52年～57年にかけて県営たん水防除事業により下津排水機場が設置され、五条川へ排水されている。しかし、近年の都市化の進展に伴い流出量が増大するとともに、既設排水機場は設置から30年以上が経過し、老朽化に伴う排水能力の低下がみられ、湛水被害が顕在化している。 このため、本事業により本施設の更新整備を行うことで湛水被害を未然に防止し、農業経営の合理化及び民生の安定化を図るものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工 期
	184 ha	1,982 戸	1,640 百万円	平成29～36年度
	主要工事	排水機場 1 箇所 排水樋門 1 箇所		
	関連事業			
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	32,543百万円	3,785百万円	8.59	総費用総便益比方式
概要図	別添のとおり			

出典：新下津地区土地改良事業計画概要書（愛知県農地計画課作成）

概要図

農村地域防災減災事業 新下津地区



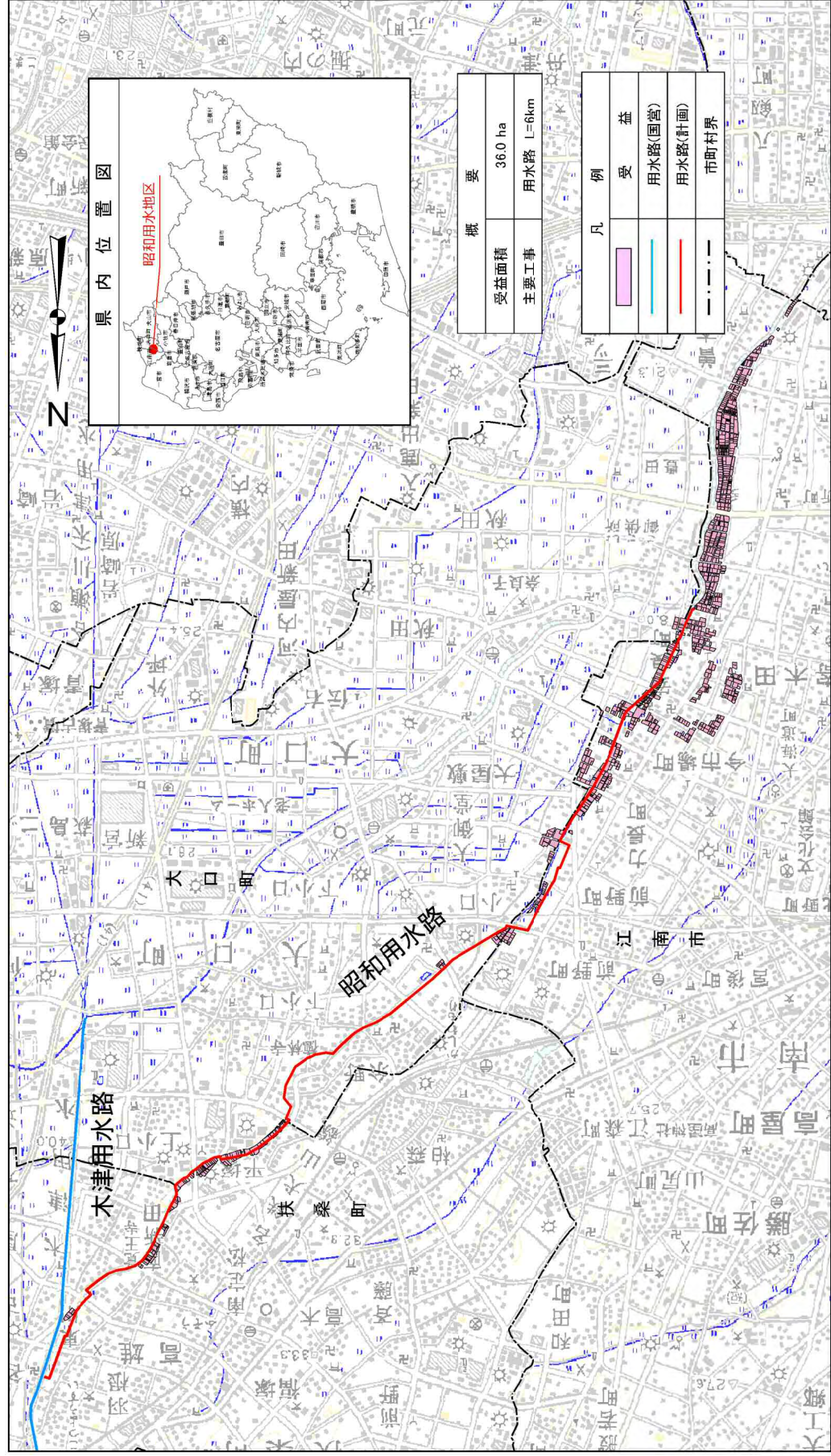
地区別事業概要

事業名	農村地域防災減災事業		地区名	しょうわようすい 昭和用水
関係市町村	愛知県江南市、丹羽郡大口町、 丹羽郡扶桑町		事業主体	愛知県
事業目的	本地区は、愛知県江南市、丹羽郡大口町及び丹羽郡扶桑町の一部に位置し、木曽川流域の平地に広がる農業地帯であり、水稻を中心とした営農が展開されている。昭和用水路は、昭和49～平成元年度に県営水質障害対策事業により用排兼用水路から用水機能を分離して築造した管水路である。しかしながら、施設の一部は敷設から40年以上が経過しており、老朽化に伴う漏水や破損により、安定した用水供給に支障を来している。 このため、本事業により本施設の更新整備を行うことで従前の用水機能を維持し、農業生産の維持並びに農業経営の安定化を図るものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工 期
	36ha	432戸	1,286百万円	平成29～34年度
	主要工事	・用水路 6 km		
	関連事業			
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	1,454百万円	1,231百万円	1.18	総費用総便益比方式
概要図	別添のとおり			

出典：昭和用水地区土地改良事業計画概要書（愛知県農地計画課作成）

概要図

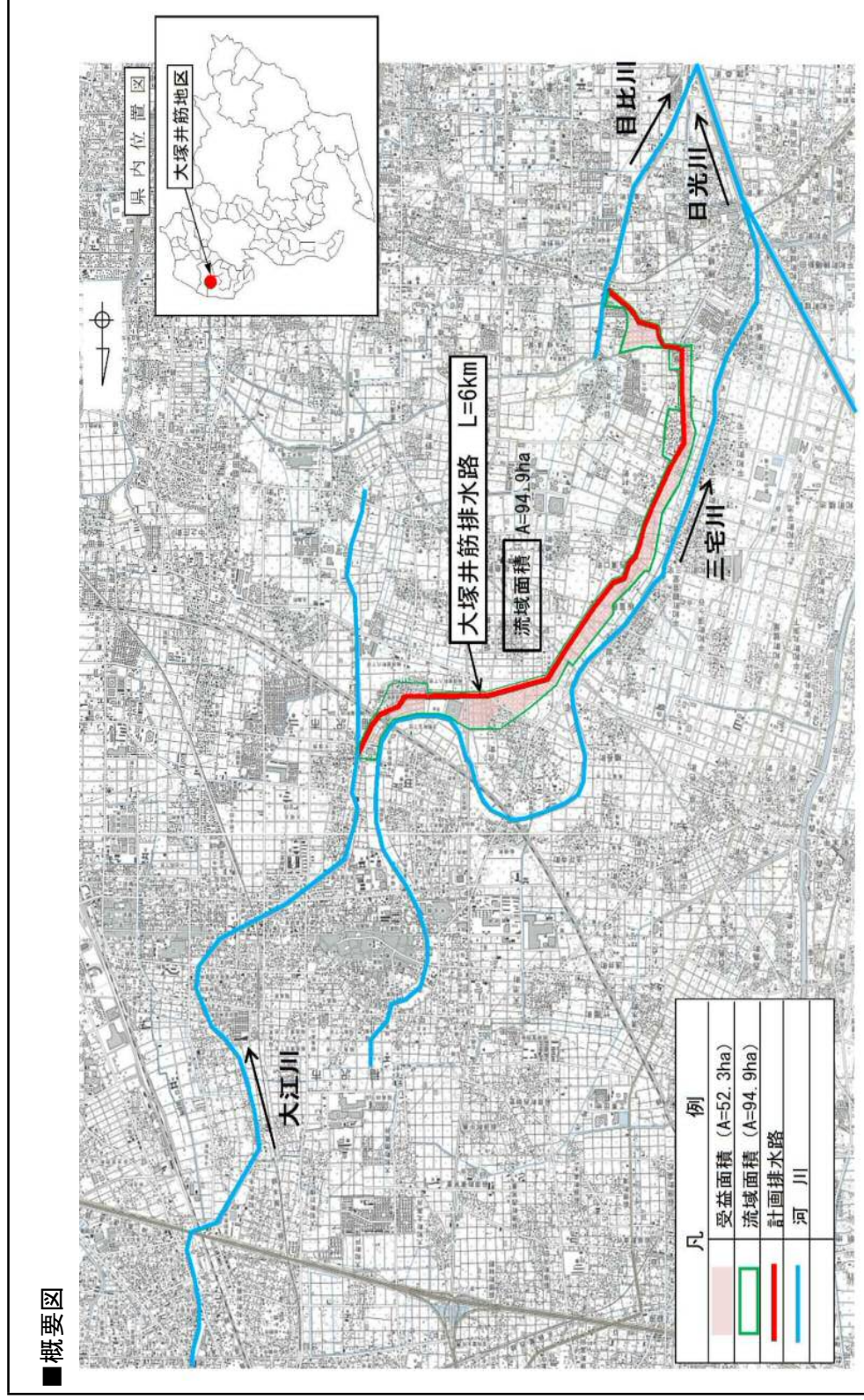
農村地域防災減災事業 昭和用水地区



地区別事業概要

事業名	農村地域防災減災事業		地区名	おおつかいすじ 大塚井筋
関係市町村	愛知県稲沢市、愛西市		事業主体	愛知県
事業目的	本地区は、愛知県稲沢市及び愛西市の一部に位置し、木曽川流域の平地に広がる農業地帯であり、水稻を中心とした営農が展開されている。 大塚井筋排水路は、昭和21～25年度に県営かんがい排水事業で造成された後、上流部は国営濃尾用水二期土地改良事業（昭和54年～59年）、下流部は県営水質障害対策事業大塚南部地区（昭和54年～59年度）により用排分離された排水専用水路である。 本地区は、都市化の進展に伴い汚濁量が増大するとともに、ゴミの滞留や汚濁水のだみ等により、排水機能に大きな影響を及ぼしており、周辺住民から環境悪化を問われるなど、その管理に多大な労力を要している。 このため、本事業により本施設を改修し開水路を暗渠化することで、水質障害を解消するとともに維持管理の軽減と農村生活環境の改善を図るものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工 期
	52ha	200戸	3,977百万円	平成29～38年度
	主要工事	・排水路 6 km		
	関連事業			
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	34,018百万円	3,025百万円	11.24	総費用総便益比方式
概要図	別添のとおり			

農村地域防災減災事業 大塚井筋地区



地区別事業概要

事業名	農村地域防災減災事業		地区名	鍋田 なべた
関係市町村	愛知県 やとみし 弥富市		事業主体	愛知県
事業目的	本地区は、愛知県弥富市の南部に位置し、背後地は濃尾平野の低地にあつて水稻を始め、名古屋市近郊である立地条件を活かしトマト、ナスなどの野菜栽培が盛んな地域である。農業の他に、受益地内には災害拠点病院、市役所、消防署、放送局等の重要施設や宅地等も点在している。堤体の基礎地盤が緩い砂地盤であることから、想定される地震で堤防が沈下し、海水が越流することにより堤防が決壊する危険がある。波浪による直接被害を受けることとなり、ゼロメートル地帯で長期湛水が発生し、農地や農作物のほか農業施設（用排水路、排水機場等）へ大きな被害を与えることが懸念される。この他にも、都市と工業化による一般資産（住居、工場、事業所）、公共施設（学校、病院、道路、鉄道等）ならびに公益施設（ガス、水道等）への影響は非常に大きいものであると想定される。このため、本事業により堤防の耐震対策工事を行い、地域防災力の向上を図るものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工期
	1,094ha	2,231戸	4,000百万円	平成29～35年度
	主要工事	干拓堤防の耐震改修 2km		
	関連事業			
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	98,277百万円	22,155百万円	4.43	総費用総便益比方式
概要図	別添のとおり			

出典：鍋田地区土地改良事業計画概要書（愛知県農地計画課作成）

概要図

農村地域防災減災事業 鍋田地区

